

パブリックコメント結果（意見提出者2名）

提出いただいた意見の要約		意見に対する新城市の考え
第1章計画の考え方 (食育の定義について)	<p>食育については、第1章に述べられておりますが、冒頭に「食育とは」という解説をもっと平易に示して欲しいと思います。</p> <p>言葉としては「食育」という言葉は、耳に馴染んできていますが、その意味、定義を正しく理解している人は多くないと思います。第1章「計画策定の趣旨」に食育の定義が書かれていますが分かりにくいいため注釈等の記述をして欲しい。</p>	<p>注釈の記述を予定していましたが、校正段階で欠落してしまいましたので、P1に注釈の記述をいたします。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>食育とは 食育基本法では、「生きる上での基本であって、知育、徳育及び体育の基礎となるべきものと位置づけるとともに、様々な経験を通じて『食』に関する知識と『食』を選択する力を習得し、健全な食生活を実践することができる人間を育てる」こととされています。</p> </div>
第3章計画の目標、展開 (地産地消について)	<p>公の機関が地産地消を標榜するとき、安全への押さえはしておかなければなりません。当地におきましては重金属等の潜在被害は想像もできないくらい皆無に等しいとは思いますが、限られた地域で消費を繰り返されるものについては、無駄とは思っても環境資源の安全性を科学的に把握しておく必要はあるとおもいます。計画の中に安全性への取り組みが組み込まれていないのはいかがなものかと思えます。</p> <p>3-1計画の目標において、「ほい、おたべん…」から具体的な取組へと図表で明記しているが、全体の流れがわかりにくいいため、流れが分かるように表現すべきではないかと思えます。</p>	<p>P33「しんしろをよくばるくらしづくり」において、地域・職域での取組として化学肥料や農薬の使用を少なくしていただくよう促すとともに、行政の取組として、地産地消に関するイベントを通じ周知してまいりたいと考えております。</p> <p>3-1計画の目標で明記しておりますが、食をめぐる現状・課題から計画策定の方針に従い目標設定を行ったものでありますのでご理解をお願いしたいと思います。</p>
第4章取組の紹介	<p>P33、34で新城市ウォーキングマップが紹介されています。しかし、桜淵公園周辺コースは歴史や観光的な要素が少ないため、作手総合支所周辺のようなコースを検討していただきたいと思えます。</p> <p>市民ウォーキングにも役立ち、観光にも役立つものになると思えます。</p>	<p>新城地区で健康の道が5箇所設定しておりますが、その中でも、標識などが整備されている「いきいきうでこき山コース」を紹介したものですのでよろしく願います。</p>

<p>第 5 章 計 画 の 推 進 体制</p>	<p>推進については、P 4 0 に概念図が示されており、その後は国および県の計画の概要が示されている。又 P 2 2 , 2 3 には、既存の職務が整理されている。しかしこれで「推進体制」といえるのでしょうか。ここのところは食育の主管部署を明確にしたフォーメーションとしての推進体制をはっきりしなければ、誰がどのようにイニシアティブをとって推進するのか漠としています。</p>	<p>1 - 2 計画策定の方針で明記しておりますが、食育に関する取組はそれぞれの立場の中で始まっています。その取組を広げ、市民に浸透するためのツールとして本計画を策定しました。今後、この計画を推進するために新城市食育推進協議会（仮称）を設置し、具体的な推進体制の整備を図ってまいります。</p>
<p>全体</p>	<p>あまりにも身近なテーマなので、「解っています」調に流れてしまいそうです。それぞれの部署や団体および個人で具体的且つ重点的目標を持つように誘導する施策も必要かと思えます。本計画の中に、目標と取り組みについて記述されていることは承知しておりますが、呼びかけに止まっていると思えます。</p> <p>地域での推進支援や、男性の参加を促す施策なども盛り込んでいただきたい。また、性別・世代を問わず、地元食材を利用した簡単な定番メニューは喜ばれると思えます。</p> <p>新城市の色々な「計画」「プラン」を策定しています。市民が見て、それらを読みやすく、見やすくするには、字体の統一をしたほうがよいかと思えます。</p> <p>庁内で話し合いを持って、今一度、考えていただきたいと思えます。</p>	<p>4 - 2 食育の取組で明記しております「この計画は市民が自らの意思で取組み、市民が主役でなければなりません。」のとおり、あくまで主役は市民であり、この計画をツールとして、気づき、学び、実践していただきたいと考えます。</p> <p>なお、平成 2 1 年度から地元食材を利用した料理レシピや郷土食の紹介などを始める計画をしていますので、ご期待ください。</p> <p>議案等の文書につきましては統一を図っておりますが、各課の計画書等につきましては、計画内容に合った字体を各課で検討したうえで決定していますので、ご理解をお願いいたします。</p>